

施策	63	地域資産の保存継承					政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり	
施策主管課		生涯学習・スポーツ課	課長名	松下 徹	内線	3570	政策担当部長名		教育次長 澤柳 陽一	
施策関係課名		歴史研究所・公民館・美術博物館・文化会館								
重点施策	○	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進事業、飯田市歴史研究所第3期中期計画							

1 施策の目的		
目的	対象	地域資産(価値が見出された地域資源)
	意図	保存・継承される(活かし続ける)

2 現状把握								
(1)対象指標、成果指標の状況								
対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み28年度
①	活用できる状態の整った地域資産の数(累計)	件	558	580	618	647		700
成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標28年度
※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
①	保存・継承されている地域資産の累計割合	%	100	100	100	100		100
②	保存・継承されている地域資産の数(累計)	件	558	580	618	647		700

(2)成果向上に向けての役割分担								
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法 と単位		23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	①所有者・地域での保存・継承活動を支援する。 ②市所有の資産を保存・継承する。	①支援の数(保存団体等への資金等の支援数、教委データ、件)	①	18	18		30
			②保存・継承している地域資産の数(教委データ、件)	②	618	647		700
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位		役割発揮の特記事項			
市民等	個人・各種団体	保存・継承する。	①保存・継承活動を行っている団体・個人の数 ②保存・継承している地域資産の数					

3. 平成24年度の評価結果	
(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)	(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)
☐ 計画どおり取り組めた ☒ おおむね計画どおり ☐ あまり取り組めなかった ☐ 達成できなかった	☐ 進んだ ☒ ある程度進んだ ☐ あまり進まなかった ☐ 進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・61施策で資産化した地域資産を、多様な主体と協働して現在及び将来にわたって保存継承することを意図に施策推進した。人為的な損壊や喪失を来すことなく、多様な地域資産を保存継承することができたが、中長期的には伝統芸能の担い手不足や、有形資産の開発や老朽化にともなう損壊等が危惧されるため、保存継承に向けた取組みをより確実に行っていく必要がある。

【事務事業群テーマ別の評価】

<市民による保存活動への支援>

- ・国選択無形民俗文化財である今田人形、黒田人形、国重要無形民俗文化財である霜月祭りの保存継承活動への支援を行った。霜月祭りにおいては、高齢化と人口減少にともない保存継承の担い手確保が年々難しくなっている。
- ・市有形文化財である福島家住宅の修繕事業への支援を行った。
- ・各地区における地域資産の保存継承活動への助言、支援を行い、市民と行政が協働した取り組みを進めた。

<地域資産の保存管理>

- ・国登録有形文化財である旧飯田測候所が、より良好な環境下で保存継承されるよう敷地一帯の公園化整備を行った。
- ・所在する地域住民と連携して古墳一帯の環境整備等を行った。
- ・名勝天龍峡の整備が、保存管理計画にそって、本質的な価値を損なうことなく行われるよう事前協議、進行管理を行った。

<保存管理環境の維持・整備>

- ・地域資産を保管展示する各施設の適正な管理運営と、施設の修繕整備を行った。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

- ・民俗芸能については、保存継承に必要な支援を行なうとともに、映像等による記録保存を確実に進める。
- ・旧飯田測候所庁舎については、市民の憩い、交流、学習の場として生きた形で保存継承されるよう修景・改修整備を行う。
- ・地域資産の保管展示施設については、中長期的な施設のあり方を検討するとともに、計画的な修繕整備を進める。
- ・歴史資料(アーカイブス)の調査・保存を進める。
- ・市民と行政が協働した地域資産の保存継承活動の更なる推進を図る。

施策	63	地域資産の保存継承					政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり	
施策主管課		生涯学習・スポーツ課	課長名	松下 徹	内線	3570	政策担当部長名		教育次長 澤柳 陽一	
施策関係課名		歴史研究所・公民館・美術博物館・文化会館								
重点施策	○	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進事業、飯田市歴史研究所第3期中期計画							

1 施策の目的		
目的	対象	地域資産(価値が見出された地域資源)
	意図	保存・継承される(活かし続ける)

2 現状把握								
(1)対象指標、成果指標の状況								
対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み28年度
①	活用できる状態の整った地域資産の数(累計)	件	558	580	618	647		700
成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標28年度
※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
①	保存・継承されている地域資産の累計割合	%	100	100	100	100		100
②	保存・継承されている地域資産の数(累計)	件	558	580	618	647		700

(2)成果向上に向けての役割分担								
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法 と単位		23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	①所有者・地域での保存・継承活動を支援する。 ②市所有の資産を保存・継承する。	①支援の数(保存団体等への資金等の支援数、教委データ、件)	①	18	18		30
			②保存・継承している地域資産の数(教委データ、件)	②	618	647		700
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位		役割発揮の特記事項			
市民等	個人・各種団体	保存・継承する。	①保存・継承活動を行っている団体・個人の数 ②保存・継承している地域資産の数					

3. 平成24年度の評価結果	
(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)	(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)
☐ 計画どおり取り組めた ☒ おおむね計画どおり ☐ あまり取り組めなかった ☐ 達成できなかった	☐ 進んだ ☒ ある程度進んだ ☐ あまり進まなかった ☐ 進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・61施策で資産化した地域資産を、多様な主体と協働して現在及び将来にわたって保存継承することを意図に施策推進した。人為的な損壊や喪失を来すことなく、多様な地域資産を保存継承することができたが、中長期的には伝統芸能の担い手不足や、有形資産の開発や老朽化にともなう損壊等が危惧されるため、保存継承に向けた取組みをより確実に行っていく必要がある。

【事務事業群テーマ別の評価】

<市民による保存活動への支援>

- ・国選択無形民俗文化財である今田人形、黒田人形、国重要無形民俗文化財である霜月祭りの保存継承活動への支援を行った。霜月祭りにおいては、高齢化と人口減少にともない保存継承の担い手確保が年々難しくなっている。
- ・市有形文化財である福島家住宅の修繕事業への支援を行った。
- ・各地区における地域資産の保存継承活動への助言、支援を行い、市民と行政が協働した取り組みを進めた。

<地域資産の保存管理>

- ・国登録有形文化財である旧飯田測候所が、より良好な環境下で保存継承されるよう敷地一帯の公園化整備を行った。
- ・所在する地域住民と連携して古墳一帯の環境整備等を行った。
- ・名勝天龍峡の整備が、保存管理計画にそって、本質的な価値を損なうことなく行われるよう事前協議、進行管理を行った。

<保存管理環境の維持・整備>

- ・地域資産を保管展示する各施設の適正な管理運営と、施設の修繕整備を行った。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

- ・民俗芸能については、保存継承に必要な支援を行なうとともに、映像等による記録保存を確実に進める。
- ・旧飯田測候所庁舎については、市民の憩い、交流、学習の場として生きた形で保存継承されるよう修景・改修整備を行う。
- ・地域資産の保管展示施設については、中長期的な施設のあり方を検討するとともに、計画的な修繕整備を進める。
- ・歴史資料(アーカイブス)の調査・保存を進める。
- ・市民と行政が協働した地域資産の保存継承活動の更なる推進を図る。

施策	63	地域資産の保存継承					政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり	
施策主管課		生涯学習・スポーツ課	課長名	松下 徹	内線	3570	政策担当部長名		教育次長 澤柳 陽一	
施策関係課名		歴史研究所・公民館・美術博物館・文化会館								
重点施策	○	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進事業、飯田市歴史研究所第3期中期計画							

1 施策の目的		
目的	対象	地域資産(価値が見出された地域資源)
	意図	保存・継承される(活かし続ける)

2 現状把握								
(1)対象指標、成果指標の状況								
対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度
①	活用できる状態の整った地域資産の数(累計)	件	558	580	618	647		700
成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度
※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
①	保存・継承されている地域資産の累計割合	%	100	100	100	100		100
②	保存・継承されている地域資産の数(累計)	件	558	580	618	647		700

(2)成果向上に向けての役割分担								
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法 と単位		23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	①所有者・地域での保存・継承活動を支援する。 ②市所有の資産を保存・継承する。	①支援の数(保存団体等への資金等の支援数、教委データ、件)	①	18	18		30
			②保存・継承している地域資産の数(教委データ、件)	②	618	647		700
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位		役割発揮の特記事項			
市民等	個人・各種団体	保存・継承する。	①保存・継承活動を行っている団体・個人の数 ②保存・継承している地域資産の数					

3. 平成24年度の評価結果	
(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)	(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)
☐ 計画どおり取り組めた ☒ おおむね計画どおり ☐ あまり取り組めなかった ☐ 達成できなかった	☐ 進んだ ☒ ある程度進んだ ☐ あまり進まなかった ☐ 進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・61施策で資産化した地域資産を、多様な主体と協働して現在及び将来にわたって保存継承することを意図に施策推進した。人為的な損壊や喪失を来すことなく、多様な地域資産を保存継承することができたが、中長期的には伝統芸能の担い手不足や、有形資産の開発や老朽化にともなう損壊等が危惧されるため、保存継承に向けた取組みをより確実に行っていく必要がある。

【事務事業群テーマ別の評価】

<市民による保存活動への支援>

- ・国選択無形民俗文化財である今田人形、黒田人形、国重要無形民俗文化財である霜月祭りの保存継承活動への支援を行った。霜月祭りにおいては、高齢化と人口減少にともない保存継承の担い手確保が年々難しくなっている。
- ・市有形文化財である福島家住宅の修繕事業への支援を行った。
- ・各地区における地域資産の保存継承活動への助言、支援を行い、市民と行政が協働した取り組みを進めた。

<地域資産の保存管理>

- ・国登録有形文化財である旧飯田測候所が、より良好な環境下で保存継承されるよう敷地一帯の公園化整備を行った。
- ・所在する地域住民と連携して古墳一帯の環境整備等を行った。
- ・名勝天龍峡の整備が、保存管理計画にそって、本質的な価値を損なうことなく行われるよう事前協議、進行管理を行った。

<保存管理環境の維持・整備>

- ・地域資産を保管展示する各施設の適正な管理運営と、施設の修繕整備を行った。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

- ・民俗芸能については、保存継承に必要な支援を行なうとともに、映像等による記録保存を確実に進める。
- ・旧飯田測候所庁舎については、市民の憩い、交流、学習の場として生きた形で保存継承されるよう修景・改修整備を行う。
- ・地域資産の保管展示施設については、中長期的な施設のあり方を検討するとともに、計画的な修繕整備を進める。
- ・歴史資料(アーカイブス)の調査・保存を進める。
- ・市民と行政が協働した地域資産の保存継承活動の更なる推進を図る。